

## 対馬暖流は沿岸寄りを北上 対馬暖流の流量はほぼ平年並み 今後の沿岸水温は高めで推移

2023年4月14日～24日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。  
道南では沖合域を北上した対馬暖流は、せたな沖で本道に近づき、その後は沿岸寄りを北上しています（図1c）。  
せたな沖で計算した対馬暖流の北上流量は約0.9Sv（1Sv=10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s）でほぼ平年並みとなっています（4月流量の平年値は0.95Sv）。  
例年、積丹半島近海には暖水渦の形成がみられますが、今回の観測では渦はみられませんでした。  
50m深水温は6～10℃で、せたな以北の海域ではほぼ平年並みですが、以南の海域では平年よりも約2～3℃高くなっています（図1a,b）。  
4月下旬の余市前浜水温は「平年並み」ですが（※1）、向こう1ヶ月の気温の予報は平年よりも高くなる確率が高くなっていますので（※2）、今後、沿岸水温は平年よりも高くなることが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyousuion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

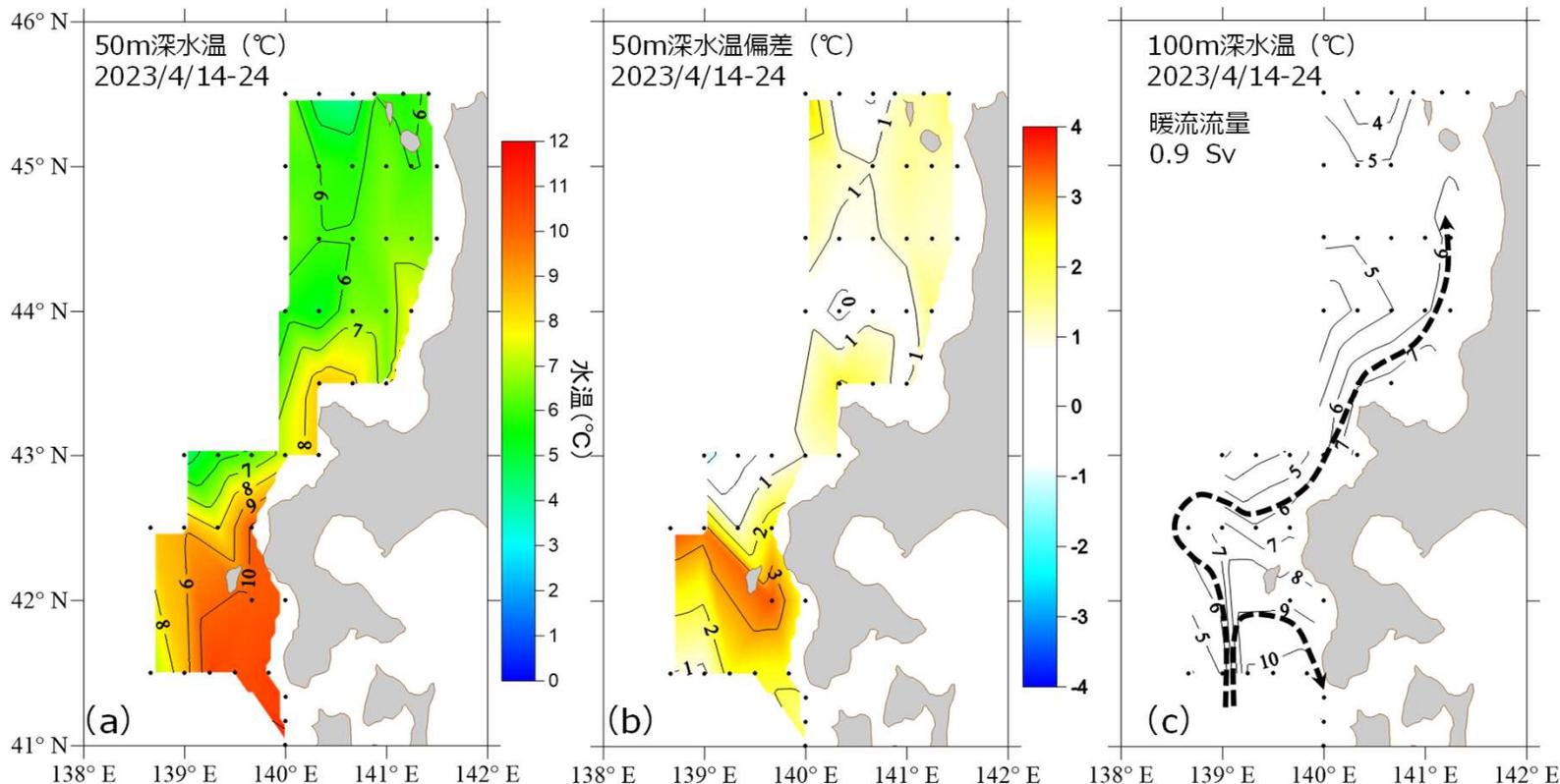


図1 2023年4月中下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路（矢印）。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s）。